

平成29年度 延岡市立方財小学校 学校評価書

本年度の重点目標	① かしこく（学年や個に応じた学力の向上） ② やさしく（思いやりの心と節度ある行動の育成） ③ たくましく（体力向上と健康で安全な教育の推進） ④ とともに（家庭や地域、関係機関との連携の強化）
-----------------	---

4段階評価： 4 期待以上
 3 ほぼ期待どおり
 2 やや期待を下回る
 1 改善を要する

評価項目	評価指標	自己評定	自己評価結果の考察・分析	学校関係者評価委員コメント	評価
学年や個に応じた学力の向上	① 家庭における学習習慣の育成を図っている。 ② 読書の啓発と基礎・基本を生かした応用力の育成に努めている。	3.1	○ 家庭学習については、年度初めに家庭学習の手引書「方財小家庭学習のとびら」を児童と保護者に提示し、共通理解・共通実践を徹底してきたことで、ほとんどの児童が習慣化されてきている。 ○ 図書館教育では、ふくろう号の活用の推進や市立図書館と連携した「読書祭り」を実施するなど、常時活動に変化をもたらす取組を行ってきた結果、児童の読書に対する興味・関心は高まってきている。	参観日や学習発表会の様子から、児童は学習に意欲的であると感じた。読書については、学校と保護者との評価のズレがあるので、学校での子どもたちの読書活動の様子を保護者に積極的に伝えるようにすると良い。	3.1
思いやりの心と節度ある行動の育成	① 児童に基本的な生活習慣が身に付いている。 ② 児童会活動を通して、児童に自主的な態度が育っている	3.0	○ 校内でのあいさつや会釈については自分から進んでできるようになってきたが、校外になると個人差が大きい。 ○ 上級生に積極性が育ってきたことで、縦割り班活動においては、上級生が率先してグループをリードしようとする場面が見られるようになってきた。	ほとんどの児童があいさつを交わしてくれる。特にスポーツ少年団の児童は大変気持ちの良いあいさつを交わしてくれる。	3.1
体力向上と健康で安全な教育の推進	① 体力テストに基づいた体力の向上が図られている。 ② むし歯の治療が適切に行われている。	3.0	○ 体力向上プランに基づいた学習計画が展開されていることで、児童の体力が向上してきている。 ○ 全校のむし歯治療率が現在65%で、前年度と比較するとかなり向上した。これは、保護者への啓発の強化や医療券発行等の効果によるものと考えられる。 ○ 避難訓練は、教師誘導型ではなく、児童が自主避難する訓練にした。児童が互いに協力し合いながら避難できるようになった。	むし歯治療率の向上は、学校が根強く保護者に呼びかけてきたことで、児童の健康について危機意識をもったからではないか。今後も保護者への啓発を継続して治療室100%を目指してほしい。	3.2
家庭や地域、関係機関との連携の強化	① 地域の人材や素材を生かした方財ならではの教育活動に取り組んでいる。 ② 保護者や地域への教育活動や取組の情報を発信している	3.3	○ 地域との関わりの中で、児童はふるさとの良さへの気付きや地域の方への感謝の気持ちが高まりつつあるので、今後とも継続的な取組を実施していくようにする。 ○ 学校だよりや学級通信等を通して、情報発信が積極的にできた。	地域の人材を生かした学習活動があり、地域の方も毎回楽しみにしている。学習発表会も地域の方の参観が多く、学校の取組に関心が高いことがわかる。	3.3

【学校関係者評価委員による総評】本年度の取組について、次年度への改善に向けて

校長がリーダーシップをとり、児童の学力向上はもとより、地域の資源を生かした特色ある取組を通して、心豊かな児童の育成に全職員が一丸となって取り組んでいる様子がうかがえる。今後も更に児童や保護者、地域のニーズに応えるために、切磋琢磨していくことを切に望む。